

POWER!



2015年
1月
vol. 37

平成27年(2015年)
1月20日発行
発行所 ● 日本薬剤師連盟
〒160-0004
東京都新宿区四谷4-3
四谷トーセイビル2階
TEL (03) 3225-3100
FAX (03) 3225-3200
発行月 ● 隔月(奇数月)発行

<http://www.yakuren.jp>

薬剤師議員 当選!!



松本純(神奈川1区)



とかしきなおみ(大阪7区)



逢坂誠二(北海道8区)

参議院選挙に向けてスタート!

「全国薬剤師フォーラム2014」開催される

昨年の11月29日(土)〜30日(日)の1泊2日で、千葉県船橋市のクロスウェーブ船橋で「全国薬剤師フォーラム2014」が開催された。今回のフォーラムの特徴は、過去6回のフォーラムでは若手薬剤師の指導者育成が目的で、政治活動の重要性に気付いてもらうことを主に40歳までの薬剤師を中心に開催されていたが、今回は都道府県薬剤師連盟で主たる役割を担う役員が対象となり、33歳から69歳(平均年齢51.5歳)までの91名が集まり、参議院選挙を見据えたフォーラムとして開催された。3人の講師による基調講演を踏まえ、1日目のSGD(以下SGD)は過去の選挙の検証を行い、それを基に2日目のSGDでは、これからの後援会活動についての議論が行われた。そしてグループ発表では、各ブロックのスローガンが発表され【3面参照】これからの後援会活動、選挙活動に向けた熱い議論が繰り広げられた。



すべきか、これからどうするべきかを議論してほしい。40年前50年前にあればの人が集まって「処方箋を寄せ」と運動をした。もちろん我々が仕事をしなければことは進まない。自分たちが獲得した職能は絶対に離さないぞという思いで議論を進めて、さらに深い議論をしてほしい。薬剤師議員は現在3人しかいないが、薬剤師でなくても、薬剤師のために働いてくれる議員の方々をつくるために議論していただきたい。

来賓挨拶1 松本純前衆議院議員



社会保障制度のルールは、政治主導でどんどん変わる。このような状況の中で、こういった立ち位置をとっていくかというのは難しいが、このフォーラムで学ぶことで、私たちの職能が将来どうあるべきかを大いに発言していただき、社会保障制度の中で薬剤師がリーダーシップをとれるような立場を作っていたらと思う。

風力計



日本薬剤師連盟
副幹事長 手塚 幹子

連盟の必要性

平成19年、企画実行委員として、「藤井もとゆき」参議院議員の支援活動に参加いたしました。当時、岩本副幹事長率いる13人の委員のメンバーは各県薬の幹事長という肩書きの方たちで女性性は2人。第一印象は「怖い」の一言でした。ところが見かけと違って皆様は大変優しく、ユニークで多くのことを指導してくださいました。都道府県の連盟事情や選挙のお話、たくさん議論もいたしました。選挙に向けてグッズも作りました。そして、「第1回全国若手薬剤師フォーラム」を平成20年9月に熱海後楽園ホテルで開催いたしました。若手とは何歳までなのか? 当時は45歳までと区切っていた気がいたします。男性も女性も一緒に政治に触れてもらう、つまり連盟の必要性も含め何故薬剤師議員が必要なのかを語り合うという初めてのフォーラムとなりました。また、お台場において「女性フォーラム」も開催しました。また、「全国若手薬剤師フォーラム」は「若手薬剤師指導者育成フォーラム」に名称を変え、今回は内容も変更して「全国薬剤師フォーラム2014」として、平成26年11月29・30日に開催し、今回で7回目となりました。

各都道府県でも「若手薬剤師育成フォーラム」を開催していただけるようになり、多くの薬剤師たちが政治に関心を持つてくれることを期待し、連盟の必要性を認識してくれることを願い、今後とも暖かい目で見守りながら育てて行きます。

企画実行委員会、役員も薬剤師の未来のために全国の薬剤師が一体になることを心から願っております。

明けましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、旧年中は、本連盟の諸活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

昨年の暮れには、世界に誇る我が国の社会保障制度を将来にわたって安定的に維持する事を目指し、その財源として再度の消費増税の是非や、これまでのアベノミクスの成果を問うべく、衆議院の解散、総選挙が行われました。政府を支える与党の安定が、国政を誤りなくリードし、強くそして健全な社会を構築する上で必要であり、選挙の結果に倣うことなく、国民のための施策が講じられるものと確信しています。しかしながら、消費税率増の先送りは必要な社会保障財源確保と言う観点からは、大きな課題を残したこととなり、来年に控えた診療報酬改定等への影響が懸念されます。日本薬剤師連盟としても日本薬剤師会と連携を密に保ちながら、従来にも増して政治的側面からの支援を図りたいと考えています。

新年のご挨拶

日本薬剤師連盟会長 山本 信夫



また、本年は、統一地方選挙の年でもあります。年末の選挙から短時間で再度の選挙準備には、地域で活動をして頂く会員諸氏にとって大変なご苦労をお掛けすることとなりますが、我々の最大の目標である、平成28年の夏に向けた政治活動の第一歩と位置付けて頂き、地域における我々の理解者を一人でも増やすよう、ご尽力を頂きたいと願っています。

そして、我々の目指す目的地まで残すところ一年半と迫ってきました。自らの職能代表を「立法府に送る」大願成就の日に向けて、一心不乱に薬剤師が丸となって活動をする事が重要な事と思えます。薬剤師の政治離れが地域の薬剤師会をはじめとして大きな問題となっています。しかし、国の立法府に我々の支持する人を「送り込む」その力が、薬剤師が薬剤師としてその職能を発揮する政策的背景を作る最大の武器であると認識して頂き、今年も本連盟の活動にご支援を賜りますようお願い申し上げます。会員各位の本年のご健勝を祈念して新年の挨拶と致します。

11月29日(土)

会長挨拶 山本会長

長丁場になるが、2年後の話だけではなく、将来どうするか、しっかりと何を

● 来賓挨拶 2

藤井基之文部科学副大臣・参議院議員



「松本純、とかしきなおみ両衆議院議員の支援に全勢力を注いでほしい」と第一声をあげ、次に「消費税を引き上げたのは3党合意だが医療費改定で消費税アップ分は100億円、5万薬局で8億枚の処方箋があり1点上がったとしたら、それだけで80億円でも税の手当では出ていない。今回は調剤パッケージもあり厳しい内容であるが、取り返した100億円を含めても処方箋単価は下がっている。そこをわかっている人を増やしたい」と薬剤師のみならず、薬剤師に理解のある候補者の重要性を訴えた。

● 基調講演 1

「日本薬剤師連盟の歴史」

岩本副会長兼幹事長



日本薬剤師連盟は本年度で100周年。大正3年に「医薬分業期成同盟」ができ、昭和24年に政治活動のための「日本薬政会」ができた。後に日本薬剤師会の法人化に伴い両者が合併し「日本薬剤師連盟」が発足した。と経緯説明があった。そして昭和40～50年代の選挙においては24万～57万票を現在の半分ほどの会員で獲得していたが、最近では15万票前後と会員の意識が低いことを指摘。また、医師会が統一候補を出した時は、支援団体が重なるため厳しい戦いとなることが予想される。との話があり、参加者は危機感を持って戦いに挑む必要があることを実感した。

● 基調講演 2

「藤井議員の活動の軌跡」秘書から見た議員の素顔」

石井常任総務



冒頭、藤井基之参議院議員の性格、趣味、嗜好等、元政策秘書でなければわからない議員の素顔についてユーモアを交えての話があった。

その後、藤井議員の政治活動の結果実現した薬剤師に関係する主な事項について解説がなされた。薬学6年制は、自民党の薬剤師問題議員懇談会に「薬剤師教育問題検討チーム」が設置されたことが実現に当たったこと、大きな布石となったこと、平成14年度の調剤報酬改定は医科と同率の不公平な引き下げ改定となったが、その後は公平な改定に戻ったこと、医療法の改正により薬局が「医療提供施設」と明記されたこと、危険ドラッグの規制強化に関する議員立法による薬事法改正において、提案議員を代表して提案趣旨説明を藤井議員が行ったこと等について解説され、参加者は改めて理解を深めることができた。

● 基調講演 3

「H19・22・25年参議院選挙の総括について」

鳥海常任総務



現在の日本薬剤師連盟組織において、得票可能な理論値は60万票以上あるが、現実には15万票程度にとどまっ



ている。得票数は、会員数より薬局数とより強い相関を持っている。しかし、厚生労働省の統計データから薬局における2024年問題が明らかになった。これは、2024年に薬剤師が開設する薬局が0軒となる推計データ。その結果、得票できる票数が減っていくことが推測できる。平成19年選挙と平成22年選挙を比較すると平成22年選挙の方が得票数が下がっているものの都道府県の得票数に特異的な変化はなく、同様の選挙活動が行われていたものと推測できる。従って、今の活動を続ける限り、得票数を伸ばすことはできないと考えられる。

都道府県の得票パターンは3系統に分類できる。会員数が3000名以下で3000票までを集票している群、大都市圏がある群、その他の群。

参加者がこれらのデータと自県の状況を比較し、得票できる方法として密接に連携した組織を構築し、常に安定当選得票数となる20万票以上を獲得できる組織へと変革していくヒントとなることを望んでいる。

● SGD 1

第22回参議院選挙での、都道府県の薬局数、得票数、投票行動率より、似通った状況の都道府県が10グループに分かれて討論が始まった。最初は事前に調査したアンケート



トに基づき、過去の選挙戦についての報告、質疑応答が行われた。今までの選挙をどう戦ったか、上手かったこと、いかなかったこと、後援会名簿の集め方等、他地域の事例も参考にしながら、翌日のディスカッションの基礎となる議論が行われた。

● ナイトミーティング



夕食懇親会に引き続き、自由参加で連盟役員とフォーラム参加者がフリートークできる場が用意された。定員50名の部屋にイスを追加し、超満員となり熱気溢れる雰囲気の中、まず岩本副会長兼幹事長より選挙公示日を境に注意すること等、選挙違反にならないための話をきっかけに、参加者からの質問に答え選挙活動の疑問点を解消した。続いて山本会長をはじめ日本薬剤師連盟役員らの政治活動に対する熱い思いが語られ、我々の目的はひとつであることが再認識され、閉会となった。

11月30日(日)

● 目覚めの喝！ 小野常任総務



岩本副会長兼幹事長の2日目開会の挨拶に続き、小野常任総務より昨年の若手薬剤師指導者育成フォーラムで「特別公演」をお願いした舩添要一現東京都知事との関係の話があった。小学校時代からの同級生であり現在に至るまでの話を聞き、舩添知事の一面を知ることが出来る興味深い内容で参加者は朝一番の講演であったが真剣に聞き入っていた。

● SGD 2



2日目のSGDは8つの地域のブロックに分かれ、前日の議論を踏まえ、これからの後援会活動を中心

薬剤師の活用方法等の討論が行われ、午後から行われるグループ発表に向けて、それぞれのスローガンが検討された。また、あるブロックではこのグループメンバーでの委員会が設置され今後も連携して活動していくことが確認される等、早速の成果が表れていた。

● 総評 荻野副会長



「組織構築というのは人選だけでなく日本薬剤師連盟IIブロックII都道府県II支部II班と個々の組織の連携も重要であり、特に会員に近いところの支部長、班長が大切になってくる」と組織強化担当副会長としての思いが語られた。また、藤井基之参議院議員の支援活動を確実に将来へ繋げたい、と抱負を語り、昨年まで活躍されていた故小田前幹事長の思いをしっかりと受け止め、選挙にぶつきたい。と締めくくった。

● 閉会挨拶 手塚副幹事長



グループ発表のアイデアを早速活用し「全国の薬剤師つながろう！日本薬剤師連盟、もっと、もっと、藤井もとゆき!!」と即興でスローガンの発表があり、全員で「もっと、もとゆき、頑張るぞ!」と力強く頑張るぞコールが行われ、2日間にわたる「全国薬剤師フォーラム2014」が閉会となった。

全国薬剤師 フォーラム 2014 SLOGAN

ス ロ ガ ン

北陸信越

30%アップを目指して!!
~緻密な計画、確実な行動、
最大の努力~

北海道・東北

さあ 始めよう!
~薬剤師の未来のために~

近畿・大阪

つながろう・ひろげよう
近畿大阪ブロック

中国

薬人の底力(POWER)を
発揮しよう!!

関東・東京

もっと伝えよう
藤井もとゆき

東海

薬剤師の選挙に対する
パワーを高めよう

九州

ガッチリ九州
—みんなでもとゆき—

四国

ひろげよう若手のチカラを
伝えようベテランの知恵を

新年のご挨拶

日本薬剤師連盟副会長兼幹事長 岩本 研

新年明けましておめでとう
ございます。会員各位におか
れましては、新年を清々しく
迎えられたこととお慶び申し
上げます。



早いもので、幹事長を拝命して10ヶ月がたちま
した。最初の半年は時間ばかりが過ぎる日々が続
き、私自身が副幹事長時代に何もしてこなかった
ことが分かり反省する日々でした。故小田大兄
(前幹事長)のご苦労が今になって分かり、これ
で平成28年の大願成就のための旗振りができるの
かと自問自答の末、現在は藤井基之参議院議員の
活動支援を最優先に連盟会務に励んでおります。
数年前、本誌に掲載された幹事長の新年挨拶にお
いて、小田大兄が「パットは強く」と題して、選
挙は強くなければならないと書いておられまし
た。まさしく強いリーダーシップのもと会員が一
致団結して突き進んでこそ、その先に輝かしい勝
利が待っています。輝かしいと言ったのは優秀な
成績を出すことであり、その数字が私たちの政治
力のバロメーターとなり、ロビー活動の際に重要
な意味を持ちます。

このことは、薬剤師連盟の要望の後ろに、どれ
だけの国民に支援していただいているのかが見え
ない力になっているのだと思います。この見えな
い力が、立法院すなわち国会議員や行政に対して
の説得力に繋がるのではないのでしょうか。

私たち薬剤師連盟はこの見えない力、すなわち
会員の一致団結力に支えていただきながら、日本
薬剤師会の施策を具現化するために側面から政治
的活動を行っています。

そのためには、是非とも藤井基之参議院議員が
国政の場において引き続き活躍できますよう、会
員各位のご理解、ご支援をお願いしてご挨拶とい
たします。

●青森 木村隆次



青森県薬剤師連盟支部ごとに社会保障制度と税の関係、政治(立法府)との関わり説明会を実施し「制度ビジネスの怖さ」を共有する。さらに支部ごとの若手リーダーの育成をして青年部、女性部の組織の活性化を図る。

●北海道 東洋彰宏



連盟活動の成否は、組織強化に全力で取り組んでいる各都道府県役員のご苦労と、活動の意義を全ての薬剤師が共有することこそ全てであります。本会と連盟をことさら分けて活動する必要はなく、本会の日常活動と連動し、政治力の重要性、分業競争の歴史を常に語り続けていくことが、会員増強、財政基盤強化、集票力強化へ直結していくと考えております。

北海道・東北
ブロック

未年の抱負
「組織強化」
全国の連盟会長が語る!

●秋田 松田泰行



本年は次回の診療報酬・調剤報酬の改定に向け重要な年となります。社会保障政策全般に私達の意向を反映させるには、藤井基之先生をはじめ薬剤師国会議員の皆様の活躍に大いに期待するところです。私達はその活動を支援するため、諸先生方とともに「説いて」「廻って」を基本に組織強化を図りたいと思います。

●宮城 佐々木孝雄



日頃から会員と県議会議員・国会議員との接点を拡大し、会員の「政治に関与する実感」を醸成することで政治への関心を高めてまいります。そして「もの申す薬剤師の集団」として政治的影響力の拡大を目指します。

●岩手 畑澤博巳



野党色の濃い本県においては、政党を超えて薬剤師議員の必要性を浸透させることが重要課題であり、本年は本県薬剤師連盟の規約の見直しを図るとともに、組織活動を強化し、薬剤師が一丸となって政治活動に取り組めるよう努力します。

●栃木 小野村昌



連盟の会員増強、財政基盤の強化、選挙に勝てる組織力を創りあげるには、市町村、小選挙区、都道府県、全国比例でいかに勝てるか? 実行出来る目標を決めて、全会員が一つになって突き進むことだと思ふ。

●茨城 根本清美



会員増強、財政基盤強化、集票力強化を一層推し進めるためにも、若い薬剤師が夢を持てるよう、今後10年後、20年後の薬剤師の立つ位置を明確にし、具体的な目標を示すことにより、連盟組織をしっかりと作り上げたい。

関東・東京
ブロック

●福島 町野紳



当県は、日薬連の責任負担金が全支出の7割近くとなっており、県内活動を行うのが厳しい状況にある。組織強化のため会員増強が必要である。会費、会則の再検討とともに、活動面では残り僅かな基金を取崩して、若手フォーラムを開催し、また、統一地方選に備えたい。

●山形 服部智彦



本会と連盟は車の両輪、国民皆保険制度の危機も囁かれはじめた今、医療、介護、年金の社会保障制度を守るためには、薬剤師の政治への関わりは必須であり、一人でも多くの薬剤師の連盟への加入を推進致します。

●東京 山本信夫



東京都では昨年、組織強化委員会を立ち上げ、その最初の取り組みとして、都内に12ある医療圏単位での情報交換会を実施することいたしました。その会を通して地区薬剤師連盟の一層の活性化が図られることを期待しています。

●山梨 幡野仁



当連盟の組織強化への取り組みとしては、現在の支部組織を活性化させるため女性会員を加えて新たに支部役員を選出し、県全体の組織強化委員会を設立します。そして、会員薬局を中心に「薬剤師と政治」の必要性を粘り強く訴えていきます。

●千葉 麻生忠男



昨年各地区の選挙、更に年末の衆議院選挙でお世話になりました。我々薬剤師は多くの活躍の場がありながら充分にその職能を発揮できておりません。薬剤師の思いがどの様な状況でも発揮できますようまず統一地方選挙、更に参議院選挙に向けて頑張ります。

●埼玉 内山宣世



本県においても会員確保が難しい中で、組織強化の取り組みは急務と考えております。薬剤師が一丸となるためには、若い薬剤師の加入率を高めることも重要ですので、本会の中で、青年部会を今年に発足したところですが、最近、大型チェーンドラッグストアにおいては、連盟加入について難しさがああります。県レベルではなく日薬サイドからの対応等について示していただければと思います。今後も薬局薬剤師、薬局以外の他方面に渡って連盟組織の重要性について働きかけを行っていく所存です。

●群馬 鈴木實



日本薬剤師会の現状把握と、薬剤師議員の必要性、重要性を認識し共有する。藤井基之議員の意気込み、政策の発信を受け今から群馬県薬剤師連盟は組織強化を一層はかり、過去の勝利の方程式を分析し、ネット選挙をも想定して確実な後援会名簿と集票に邁進する。約束する。

●福井 高畠栄一



福井県薬剤師連盟は「会員増強-会費増-財政増」が組織強化の重要課題と考える。会費増収を上げるためには、役員・支部長の意識強化を実施し、連盟が政府へ予算陳情に行っていることを広く周知し重要性を訴えていく必要がある。その意味でも会費増収は支部長の力が不可欠である。会費を未納で済ませている平気な会員に対しては、各支部での勉強会等で短時間でも、中央の実績や重要性を訴えて行く。今までがわたくし何とかなるという意識を逆転していく。常に政治の重要性を継続して訴え続けて行く。その過程において自由民主党青年部、女性部の力をお借りし連盟活動の啓蒙を行っている。

●石川 能村明文



「政治は数なり」とにかく懸命に連盟会員数の増強を図りたい。昨年より青年薬剤師部会を立ち上げました。多くの勤務薬剤師の方に職域を問わず、会員、非会員にかかわらず参加を求めています。そして横の繋がりを拡大して行く方針です。青年薬剤師部会は、テーマを決めて月例定例会を開催しています。議論等を通して、薬剤師の現状そして将来に政治力の必要性が確信できると思っています。勿論従来の会員を中心とした組織活動も進めていきます。

●富山 大津賀保信



本県の平成22年選挙における得票数は2,306票(3.9票/会員)であった。来年の選挙では目標得票数2,900票の達成に向けて、現在の8地域支部に加え、製薬薬剤師支部及び病院薬剤師支部の新設を検討している。

●新潟 長澤敬一



新潟県では、会員がほぼ連盟会員となっており、会員を増やすことが即ち連盟組織強化につながる。政治連盟の必要性を各地域に発信し、連盟活動への参加を促進したい。次回参議院選挙では、4250票の得票数を目指して頑張る。

北陸信越
ブロック

●愛知 村松章伊



本県の薬剤師会員には県議員、市議会議員をはじめ町長さんまで6名の薬剤師議員がいます。彼らの協力により薬剤師に政治活動が必要かつ欠くべからざるものであることを理解していただきます。

●静岡 明石文吾



静岡県薬剤師連盟と県内各地域との繋がりを強化する目的で、昨年は静岡県薬剤師連盟内に会員の活性化増強策のための組織強化対策担当者を置きました。本年は彼らとともに更なる組織強化に邁進してまいります。

●岐阜 山崎太



定期的開催される県内各地域研修会に併せて県薬連盟幹部が会場へ足を運び、薬局の日々の業務遂行における政治の必要性を説くこと。すなわち、書面ではなく、会員との対面での情報伝達と会話に全力で取り組みます。

●長野 大塚幸



喫緊の課題の1つが、2025年の地域包括ケアシステムへの参画である。日々の薬剤師業務の充実も勿論、今年度は全会員とのコミュニケーションに努め、政治への関心を促し、涵養に努め、内外に団結力を示していく。

東 海
ブロック



● 京都 川勝一雄

京都府薬剤師連盟では、これまで中央で開催された若手薬剤師フォーラムに参加してきた会員を中心に、会長を囲んでの懇談会を今年度から開催し、連盟活動の必要性、会員相互の連携を深めていくことを計画している。



● 滋賀 大原整

滋賀県薬剤師連盟は平成28年選挙を焦点に、今年は統一地方選挙を利用し政治の重要性を伝えて会員の政治意識を高めていきます。また「若手フォーラム」の開催や働く女性が持つ悩みを話せる「薬剤師女子会」を開催し、まずは顔の見える関係を作っていきます。



● 大阪 藤垣哲彦

素晴らしい2015年の新春をお迎えのこととお慶びを申し上げます。大阪府薬剤師連盟は、班組織を活用する地域薬剤師連盟の組織力に加えて、若手薬剤師を中心とした組織を融合し、連盟会員の増加・増強を推進します。

近畿・大阪 ブロック



● 三重 上村武

三重県の連盟会員は、Aが722名、Bが717名である。新年にあたり、平成28年の参院選対策について考えてみた。A会員の60%がアクティブに活動して5票づつ(2,166票)、B会員の50%が同様に5票づつ(1,792票)で合計3,958票を目標にする。また、活動の強化策として、①確実性の高い家族、親友、親戚、従業員で5票を確保。②名簿登録者には最低5票以上の声かけ。③期日前投票をお願い。できれば一緒に投票に行く。上記をしっかりと徹底すれば、当連盟が次回目標とする3,000票を大きく上回る票をとれると考えている。



● 鳥取 徳吉公司

2015年は、県薬連盟非会員の薬剤師への入会勧誘を積極的に行い、会員の増強並びに会費収入による財政基盤の強化に向けて、組織強化担当役員を中心に県薬連盟が丸一となって努めてまいりたいと思います。

中国 ブロック



● 和歌山 稲葉真也

国会・地方議員と積極的に意見交換等を行い、その考え方や政治活動の重要性を学ぶと共に先生方と顔見知りになり政治家と会員との距離を縮める。会員の政治意識を高めるような班組織の活用を行う。この二つを中心に取り組んでいきたい。



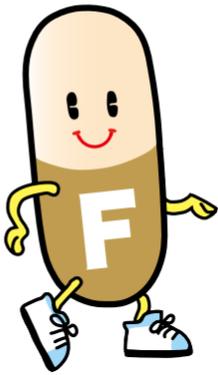
● 奈良 竹上茂

「温故「創」新」今までの経験・知識・人脈を活かし新たなチャレンジ！県内で開催される第1回まほろば薬剤師フォーラムから連盟活動の必要性を周知し世代・立場を超えて丸一となることで薬剤師職能の更なる飛躍を目指します。



● 兵庫 赤松路子

連盟における組織の強化は本会の会員の獲得が大きく関わってくる。本会への会員の増強をしっかりと行うことに力を入れ、政治の必要性を訴え、若人の組織強化も必要であるが、中堅、女性への組織強化を図っていききたい。



● 山口 若松輝明

薬剤師は薬事法、薬剤師法等々法律で規制され保護されている。立法府である国会の各地域に於ける国会議員との交流をより一層深める様指導していきたい。議員との交流を深めることが連盟の組織強化に繋がると確信する。



● 広島 前田泰則

新年あけましておめでとうございます。広島県薬剤師会、連盟は昨年夏の土砂災害を教訓に地域薬剤師会、連盟との連携強化のために広島県薬剤師会館建設と地域包括ケア事業に取り組み、多職種協働による在宅医療機能の充実と薬剤師支援の強化を図ります。



● 岡山 高木秀彦

組織強化を最重要課題と捉え、現在、県内15支部に新たに組織強化委員を選任、組織強化委員会を設置し、本部強化委員長のもと各支部事情に則した取組みを展開したい。若手フォーラム経験者を中心として活動している部会とも協力し、将来を見据え実行ある活動を目指したい。



● 島根 津戸富太郎

昨年、11月より県内に組織強化委員会を立ち上げ、月例テレビ会議でテーマを設定し問題点を一つずつ解決していくこととした。[1]役員意識強化を図る事[2]支部における連盟活動を活性化するための検討を行う事[3]政治に無関心な若手薬剤師は元より勤務薬剤師に政治活動の必要性を説く事[4]信頼できる名簿を作成する事[5]次期参議院選挙の組織内候補を強力に支援する事。以上の事を柱として活動する所存であります。



● 高知 西森康夫

新年あけましておめでとうございます。皆様方におかれましては、心新たに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。[2015年における組織強化の取組み]につきましては、役員・支部長間の連携を密にし、連盟の意義・必要性を会員等に広く伝え、理解していただくよう努めていきます。また、若手や女性薬剤師を活用した事業や施策を実行し、会員全員が共通の意識をもって行動することで組織や職能団体の強化を図っていききたいと思います。



● 愛媛 宮内芳郎

連盟活動の重要性を認識し関心を高めてもらうために、会員への情報伝達網を整備して組織の活性化を図りたいと思います。また、若手薬剤師フォーラム経験者が積極的に活動できるように環境を整え、組織強化につなげたいと思います。



● 香川 辻上巖

香川県薬剤師会会員数は1,350名で、この中で連盟会員数は1,203名(89.1%)となっている。連盟非加入者は147名が公務員等が中心であるが、入会の動機としても可能性が低い。管理薬剤師のみが会員になっている複数の薬剤師が勤務している薬局を対象に、比較的若い非会員の薬剤師をターゲットに組織強化をする。具体的には研修会等で非会員からは参加費を徴集しているが、もう少し高い額を設定することにより、会員との格差を感じてもらい薬剤師会として、又連盟会員として入会させることを考えている。



● 徳島 宮佐俊昭

徳島県薬剤師連盟としての取り組みとしては、薬剤師会の会員は、原則連盟の会員とする。それにより、会員増強と財政基盤の強化を図ることを行っており、政治連盟として県内多数の集力を持っています。連盟内に「若手の会」という内部組織を設置しており、政治に関心の薄い若手薬剤師に対し、縦からの指導では浸透しきれない政治活動の意義・重要性の認識に対し、横からの意識付け、活動への参加を図っており、充実させていきたいと思っております。

四国 ブロック



● 熊本 廣田誠介

支部、班組織を含めた連絡網の見直しを行い、また、支部への支援体制を強化し、支部との更なる連携、意思の疎通を図ることで支部における連盟活動を活性化することにより、組織強化に繋がっていききたい。



● 長崎 宮崎長一郎

長崎県薬剤師連盟は、各地域において政治連盟活動に関する小規模集会を催し、薬剤師の仕事と政治活動が密接に絡んでいるかを伝え、そして議論することによって、県連盟への参加率の向上等を図っていききたい。



● 佐賀 吉富直助

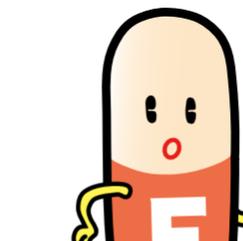
次期参院選まで余すところ1年半、正味1年といったところである。私も佐賀県薬連では、県下の支部にはそれぞれお祝賀状を送り、県薬連活動の徹底を図っている。お祝賀状の相違率は30%強であり、また連盟会費は支部単位で徴収を行い、県薬連連盟への振り込みを行うシステムがとれている。今年度は若手フォーラム参加者、青年薬剤師会、女性薬剤師会を中心に県薬連活動の企画・広範のあり方を検討していくWGを組織し、活発な活動を行っていききたい。H29年度においては従来通り、会員募集の取組を実施し、且つ薬師の団体及び関係団体と一緒に立ち上げ選挙会を催したい。



● 福岡 藤野哲朗

連盟財政は支部の並々ならぬ努力により安定。また、魅力ある本会運営を図ることで会員増強、強いては連盟会員及び財政基盤の安定につながる。集聚力強化は先頭に立つ我々役員が結果となるため更なる周知活動を徹底。

九州 ブロック



● 沖縄 神村武之

これまでの活動を通しての効果・評価・方針等を薬剤師として薬剤師連盟としての意義を更に強く会員・関係者へアピールし、政治力の必要性・重要性を訴えて、薬剤師各々の自覚を促す取り組みを強化する。



● 鹿児島 内野悟

鹿児島県の連盟は全国平均より高い組織率を保っておりますが、これが低下傾向にあり、内容を伴った組織としての運営に努めます。また19年の得票数が良かったことを参考に、薬剤師だけでなく関連団体を巻き込んだ活動にも取り組みます。



● 宮崎 田代和久

「百聞は一見に如かず」薬剤師としての知識・技能・態度を身につけるために、1年生の早期体験、5年生では実務実習をします。選挙の時に、選挙事務所を見学してはどうでしょうか。そして、ボランティアで働いてみると、政治・選挙・薬剤師に対する新しい考え方が生まれてくると思います。



● 大分 安東哲也

会員増強については、当県ではほとんどの本会会員が入会しており(98%)、入会していない会員は、それぞれの事情で、当会としても無理にはお願いしなかった。しかし、今後の増強について考えると、数名であるが、党派を超えた形での100%入会をお願いする努力をしたい。

ここで 言わせて! 本音でtalk



政府は、厚生労働省は、日本薬剤師会は、私たち現場の話を聞いて決めたのか!?
聞かせて下さい!
あなたの意見・見解!

『危険ドラッグに対する私の主張』

薬剤師の役割をアピールしよう
昨年の夏、私は埼玉ダルクを訪ねた。ダルクとは、薬物依存症から回復したいと望む仲間が集まりで自主運営されている支援施設である。入寮中の若者に、ダルクに参加するきっかけはと尋ねてみると「ハープ」「俺もハープ」と答える。違法な販売者が勝手につけた「脱法ハーブ」は、麻薬覚せい剤より危険な場合もあり実際はこんな危険性があるかわからない。行政による規制強化や対策が進む危険ドラッグの中身はますます毒性の強いものが出回るようになってきているが、一方で薬物依存からの回復支援は遅れている。

ダルクの代表者は教えてくれた。薬物依存者を回復させるには、信頼関係を築いていく必要がある。つまり薬物問題は人間関係の問題であるということが言える。

最近の薬物依存症は、危険ドラッグという新たな形として、若者を中心に問題となってきた。地域の薬局や学校現場においても、どのように対応すればよ

いのか戸惑うことも多いと思う。全国の薬局が一斉にポスターを貼り、薬剤師が街頭で訴えるなど薬物乱用防止活動・啓発事業と共に、学校薬剤師活動をはじめとする「薬剤師の役割」も大いにアピールしたい。さらに薬局・薬剤師がゲートキーパーの役割を担うことも期待されており、薬物依存症や薬を正しく使えない患者への支援として悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて、主治医や精神保健センターなどの必要な支援につなげ、継続して見守ることである。薬剤師には薬の専門家として、国民の「薬の正しい使い方・つきあい方」を支援する観点から、改めて「危険ドラッグ」がはびこらない社会に貢献することが求められているのではないだろうか。

(埼玉県 開局 M.Hさん)

未然防止対策の構築を

「脱法」? 「ハープ」? その表現には薬剤師なら誰しもが感じていた疑問ではあった。これを受けて厚生労働省は「危険ドラッグ」へと表記を変更した。

指定薬物についても成分指定に加えて包括指定を導入したことや、所持、使用も禁止されていることをもっと周知するべきではないだろうか。
現在、対応が行われていることが二つある。

一つは、学習指導要領の改正により「医薬品の正しい使用」が盛り込まれたこと。もう一つは、危険ドラッグの取締りに対して、法的規制枠よりも抜けた条例を制定する都市も出てきていること。これらに対しては、各現場の判断次第ではなく、中央から整備すべき体制の内容について指示、支援を行うべきではないだろうか。

「関係ないもの」という曖昧な範疇ではなく「悪いもの」という感覚から、正確な情報、知識を必要とする過程に至り、得た知識を持って、どう判断をすべきかが行動に繋がることとなる。教育現場においてライフスキルの考え方も定着しつつある今、生徒が主体的に調べ、考える時間を持つカリキュラムの整備が必要なのではないだろうか。全国どこで教育を受けても、薬物に対するほぼ一定の知識や判断を有する子ども達が育つ環境の整備を望む。

後者については、その構造を特定するレベルではなく、既知物質の指定薬物を特定するために都道府県薬にある試験検査センターを活用し、迅速に結果を得ることにより、少しでも早く次の一手に活かせるのではないだろうか。そのためには試験方法等の情報を公開して、分析が出来る環境を整備すべきである。

先進諸国を見渡すと、日本はまだ薬物乱用の割合は低い。そんな「ドラッグフリー」に一番近い日本においては、教育、流通防止等の先を見越した未然防止対策を、今、構築する時期ではないだろうか。

(京都府 開局 W.Tさん)

次号は、『セルフメディケーションの推進』について

本連盟ホームページ「POWER読者アンケート」から、

どしどしご意見をお送りください。

(その他のことに対するご意見でも結構です)

<http://www.yakuren.jp/>

薬剤師も危険ドラッグの拡散防止に努力

私たちは危険ドラッグと称していますが、実際のネットなどで販売している名称は合法ハーブ、合法ドラッグであり、これらすべて危険ドラッグであることをご周知させる必要があると思います。

このことは研修会で実際に治療に当たっている医師から患者(普通の一般学生など)がネットから入手した方法を聞き取りして分かったことです。

今後はネット販売も合法ハーブなどのキーワードがあれば、販売できない仕組みを作ることが急務になってくると思います。

薬物の規制に司法が追い付いていない状況がある中、当面は薬剤師も危険ドラッグの拡散防止に努力する必要があると思います。

(滋賀県 開局 Uさん)

新年を迎えて

日本病院薬剤師連盟

会長 北田光一



新年明けましておめでとうございます。
平素より、ご高配を賜っておりまして誠に厚く御礼を申し上げます。

日本病院薬剤師連盟は、病院・診療所・介護施設に勤務する薬剤師の職能の拡大と社会における地位向上を目指し、そのために必要な政治活動を行うことを目的としております。主な事業としては、本連盟の目的をより理解いただき、私達薬剤師のために努力して下さる候補者を推薦または支持し、その支持の輪を大きく広げ、私達の代表である薬剤師議員を二人でも多く国会に送るための活動をしております。突然と聞いて良いかと思いますが、昨年末には衆議院解散がありました。本連盟として、目的達成のための最大限の努力を致しました。

医療環境が急激に変化するなかで、社会の

ニーズに応じた医療の質の向上と効果的で効率的な医療提供体制の整備が待たなしの現状であり、プログラム法に沿って病院・病床の機能分化と強化や在宅医療の充実とその連携を推進するための仕組みなどの制度化に向けた施策が着々と進められております。的確な薬学的管理の下に医薬品の適正使用を実現して個々の患者に安全で最適な薬物治療を提供することが薬剤師としての使命であります。このような状況にあって、求められる具体的な業務内容や役割とそのレベルは変化しております。現場では様々な法に則って業務が行われておりますので、時代に合致した法律を審議する国会に私達の代表である薬剤師議員を送ることは極めて重要であります。

日本薬剤師連盟の方々との緊密な連携の下、ご協力をいただきながら目的の達成を目指す所存であります。本年も引き続き、ご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶と致します。

新薬剤師議員に期待

日本女性薬剤師連盟

会長 近藤由利子



明けましておめでとうございます。
各位におかれましてはさぞかし輝かしい初春の杯を酌み交わされ

たこと存じます。
数年来、地震・土砂崩れ等々、天変地異が続き私たちの心を傷め、未だに癒えず一日もはやくもとの姿に戻ってほしいと願っています。

さて今年の干支は「未」なんとなく優しさが期待される年であろうと願っております。

ところが昨年の暮れに政府は突然解散を発表。十二月十四日総選挙と聞き驚きました。しかし、我々日本女性薬剤師連盟のなすべきことは変わりません。

近年益々高齢化が進み、在宅医療、介護間の

題その他我々薬剤師の活動分野が広がってきました。そして心のこもった医療のほか、がん治療や精神疾患治療等の専門薬剤師制度の推進等を目指して頑張りたいと思っております。

天災等に心を傷めておりましたが、最近の危険ドラッグによる人災の問題も黙視出来ません。今後大いに論議を交わされねばなりません。健全であるべき人間が興味本位に薬草に手をだしやめられない事、阻止するために今年こそ政治的方策を徹底的に講じるべきと思っております。

昨年十一月、この問題について藤井基之先生の熱のこもった講義をお聞きしました。そして政府もその方針(法的)であるところがありました。

これは薬剤師のみでなく青少年健全育成問題として家庭にも認識を深めてもらいたいと思っております。

さあ、選挙が終わって我々薬剤師議員の政界での健闘を期待しましょう。

参議院議員 藤井基之
文部科学副大臣・薬剤師 薬学博士



新年あけましておめでとうございます。日本薬剤師連盟の皆様には輝かしい新年をお迎えのこと、心よりお慶び申し上げます。

さて、昨年4月の診療報酬改定は、消費税の8%への引き上げと同時の実施となりました。診療報酬・調剤報酬本体の改定率は+0.10%、消費税引き上げに伴うコスト増への対応分(+0.63%)を含め+0.73%とされ、各科別では内科+0.82%、歯科+0.99%、調剤+0.22%と、前回改訂と同様比率(内科・歯科・調剤11.1:1.0:0.3)のバランスのとれたものでした。

衆議院議員 松本 純
自民党政調会長代理・薬剤師



新年明けましておめでとうございます。山本信夫会長はじめ、日本薬剤師連盟の役員並びに会員の皆様方には、お健やかに平成27年の初春をお迎えのこと、心から、お慶び申し上げます。

また、昨年末の総選挙におきましては、国民全体の所得をしっかりと押し上げ、地方経済にも景気回復の効果を十分

資等の購入先に支払った消費税分は、薬局にて控除対象外の消費税として処理することとなり、その手当分として、調剤報酬額を7兆円と仮定すると126億円相当額が報酬に上乗せされたことになりました。

衆議院議員 とかしきなおり
自民党副幹事長・薬剤師



私はこの原稿を衆議院選挙の最中に選挙事務所まで書いています。私を含めて3名が出馬しており、

これまでの消費税導入時や増税時にも同様の手当はされていますが、薬局において正しく転嫁できていないのが実情のようです。日本薬剤師会の要望している「患者負担に配慮した、仕入れ税額控除が可能な制度への変更」も選択肢の一つとして検討すべき提案と考えます。今年10月に予定されていた消費税10%への引き上げは、平成29年4月まで一年半先送りされたことにより、この議論も先延ばしになると思いますが、消費税引き上げ時の軽減税率や診療報酬の取り扱いなどと併せ、適正な措置がなされるよう、努めていきたいと思

新年挨拶

消費税・薬価について

に波及させていくためにも、あらためて皆さま方の力強いご理解、ご支援を賜り誠に有難うございました。

政調会長代理、公約責任者として、この度の第47回衆議院総選挙のわが党の選挙公約「政権公約J」ファイル2014の作成に係わり、「薬局・医療機関の薬剤師の機能、役割の拡充と積極的活用」、「薬物の乱用防止の総合的推進」、「安心安全な一般医薬品および一般用検査薬の適正な使用」等内容を、また、「安心社会実現に向けた税制抜本改革」の項目では、国民生活全般への配慮との観点から、「消費税率が10%に引き上げられることが予定される中、医療機関の仕入れ税額の負担及び患者等の負担に十分に配慮し、関係者の負担の公平性、透明性を確保しつつ適切な措置を講ずることができるよう、医療保険制度における手当のあり方の検討等とあわせて、医療関係者、保険者等の意見も踏まえ、総合的に検討し、結論を得ることとしていきます。」との内容を盛り込むことができました。

に引き上げられることが予定される中、医療機関の仕入れ税額の負担及び患者等の負担に十分に配慮し、関係者の負担の公平性、透明性を確保しつつ適切な措置を講ずることができるよう、医療保険制度における手当のあり方の検討等とあわせて、医療関係者、保険者等の意見も踏まえ、総合的に検討し、結論を得ることとしていきます。」との内容を盛り込むことができました。

6期目に向けて責任の重さに身の引き締まる思いです。本年も皆様と共に頑張ってください。変わらぬご指導、ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

ません。海外に50か国近く、200回近く首脳会談をする安倍総理だからこそ、海外の投資家の潮目を読み、今しかない、この道しかない、解散総選挙を行う決断をしたのです。

衆議院議員 逢坂誠二
薬剤師



新年あけましておめでとうございます。昨年12月に実施された第47回衆議院選挙におきまして、

しかし問題はそれぞれの家庭の中で景気回復の実感がないことです。すると野党の皆さんは、アベノミクスは失敗したのだから、止めるー止めるーと言います。では、止めて何が残るのか。私たちがそこを考えなくてはならないと思います。アベノミクスも正に今が正念場です。ここで踏ん張って続けなければ成功しません、止めてしまえば、失敗が確定し、また暗い元のデフレに戻るだけです。

だからこそ今回の選挙は日本人の心意気が問われているのです。日本人はリスクを恐れず挑戦し続けたから、敗戦後に驚異的なスピードで経済大国になりました。

今回の選挙で、日本人は挑戦し続けるぞ、心を一つにして日本の建て直しに取り組むぞーと世界に心意気を示すのです。私もこの選挙で多くの挑戦を続けたいです。次回、選挙結果とその挑戦について書かせて頂きたいと思

来年度は診療報酬・調剤報酬の改定の年であり、国民の安心のために必要な財源の確保にも全力挙げて対応してまいります。保険調剤、特に医薬品に関わる消費税については、患者さんの負担を増やすことなく、仕入れ税額控除が可能となる内容への転換を図らねばなりません。

私は、薬剤師資格を持つ国会議員として、仲間をばはじめ多くの皆様と連携しながら、よりいっそう安心で安全な医療と福祉実現のため、諸課題の解決に向け、確実に力強く取り組んで参りますので、今後ともよろしくお願

来年度は診療報酬・調剤報酬の改定の年であり、国民の安心のために必要な財源の確保にも全力挙げて対応してまいります。保険調剤、特に医薬品に関わる消費税については、患者さんの負担を増やすことなく、仕入れ税額控除が可能となる内容への転換を図らねばなりません。

私は、薬剤師資格を持つ国会議員として、仲間をばはじめ多くの皆様と連携しながら、よりいっそう安心で安全な医療と福祉実現のため、諸課題の解決に向け、確実に力強く取り組んで参りますので、今後ともよろしくお願

〈都道府県薬剤師連盟主催〉若手フォーラム開催報告



山梨県 若手薬剤師フォーラム (11月1日)



北海道 北海道薬剤師連盟若手薬剤師指導者育成フォーラム(11月9日)



東京都 東京ワンピースフォーラム (11月9日)



滋賀県 第2回滋賀県薬剤師連盟若手薬剤師フォーラム(11月29～30日)



長野県 長野県薬剤師連盟中堅・若手薬剤師指導者育成フォーラム(12月14日)

第47回衆議院議員選挙 結果報告

1 第47回衆議院議員選挙における薬剤師候補者の結果

当選	松本 純	6期目	自民党	神奈川1区
当選	渡嘉敷奈緒美	3期目	自民党	大阪7区
当選	逢坂 誠二	3期目	民主党	北海道8区

2 第47回衆議院議員選挙における日本薬剤師連盟推薦重点推薦候補者の勝率



3 第47回衆議院議員選挙における都道府県薬剤師連盟推薦候補者の勝率





もとゆき
Report

藤井もとゆき国会レポート



薬剤師・薬学博士
文部科学副大臣・参議院議員
藤井もとゆき

消費増税先送り、衆議院解散

安倍総理は11月18日、記者会見を開き「来年10月に予定していた消費税10%への引き上げを一年半先送りし、2017年4月に実施する」ことを表明しました。前日17日に発表された7～9月期の国内総生産(GDP)速報値は、民間予想を下回る年率換算1.6%減と、2四半期連続のマイナス成長となりました。総理は、「消費税率を予定通り引き上げることによって景気が腰折れして、税率を上げても税収が増えないということになっては元も子もない。デフレから脱却し、経済を成長させる、アベノミクスの成功を確かなものにするため」と、引き上げ延期の理由を説明しました。なお、2017年4月の引き上げは、景気条項を付さず、確実に実施することを強調しました。

総理は同時に、国民生活、国民経済にとって重大な決断をする以上、速やかに国民の信を問うべきであるとして、21日に衆議院を解散することも表明し、政府が進めてきた経済政策、成長戦略をさらに前に進めていくべきかどうかについて、国民の判断を仰ぐと述べました。

地域創生国会と位置付けた今臨時国会、「まち・ひと・しごと創生法案」及び「地域再生法の一部を改正する法律案」の地域創生二法案は、解散前に何とか成立にこぎ着けたものの、「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律案」など、数多くの重要な法律案は成立には至りませんでした。

衆議院選挙は12月2日に告示され、14日に投票が行われます。二年前の前回総選挙で圧倒的多数を確保した自民・公明の連立与党、今回の選挙はどのような結果になるのでしょうか？現時点では選挙結果を明らかにすることはできませんが、引き続き安定した政権運営のもと、確実な経済成長の歩みを進めているものと確信しています。

年末の来年度予算編成や税制大綱の取り纏めなど、衆議院総選挙後の国政運営に国民の注目が集まるところです。安定した社会保障制度の構築に向けて、引き続き取り組んで参りたいと思います。

4 第47回衆議院議員選挙における自由民主党薬剤師問題議員懇談会の勝率



※自由民主党薬剤師問題議員懇談会会員の去就

引退	保利耕輔	佐賀3区
	宮路和明	鹿児島(九州比例)

5 自由民主党薬剤師問題議員懇談会(衆議院)

衆議院議員179名-引退2名-落選4名=当選議員173名 ○内は選挙区 (比)は比例区

都道府県	選挙区	比例区
北海道	⑤町村信孝(世話人) ⑥今津 寛 ⑦伊東良孝 ⑧中川郁子	
青森	①津島 淳 ④木村太郎	
岩手	②鈴木俊一(世話人) (比)高橋比奈子	
宮城	①土井 亨 ②秋葉賢也 ④伊藤信太郎 ③西村明宏 ⑥小野寺五典	
秋田	①富樫博之 ②金田勝年 ③御法川信英	
山形	①遠藤利明 ②鈴木憲和	
福島	①亀岡偉民 ②根本 匠 ④菅家一郎 (比)吉野正芳(中国比例)に変更	
茨城	②額賀福志郎 ③葉梨康弘 ④梶山弘志 ⑥丹羽雄哉(世話人)	
栃木	①船田 元 ⑤茂木敏充	
群馬	①佐田玄一郎 ②井野俊郎	
埼玉	①村井英樹 ④豊田真由子 ⑩山口泰明 ⑬土屋品子 ⑭三ツ林裕巳 (比)牧原秀樹	
千葉	③松野博一 ⑩林 幹雄 ⑪森 英介 ⑫浜田靖一	
神奈川	①松本 純(幹事長兼会長代行) ②菅 義偉 ⑩田中和徳 ⑪小泉進次郎 ⑬甘利 明 ⑮河野太郎	
山梨	①宮川典子 (比)堀内詔子	
東京	⑧石原伸晃 ⑨菅原一秀 ⑩小池ゆりこ ⑬鴨下一郎 ⑮井上信治	
新潟	①石崎 徹 ④金子恵美 ⑥高島修一	
富山	①田畑裕明 ②宮腰光寛	
石川	①馳 浩 ②佐々木紀 ③北村茂男	
福井	①稲田ともみ ②山本 拓 ③高木 毅	
長野	④後藤茂之 ⑤宮下一郎	
岐阜	①野田聖子 ②棚橋泰文 ③武藤容治 ④金子一義 ⑤古屋圭司	
静岡	①上川陽子 ④望月義夫 ⑦城内 実 ⑧塩谷 立	
愛知	①熊田裕道 ③池田佳隆 ④工藤彰三 ⑤神田憲次 ⑥丹羽秀樹 ⑦鈴木淳司 ⑧伊藤忠彦 ⑨長坂康正 ⑩江崎鉄磨 ⑪八木哲也 ⑫青山周平 ⑬大見 正 ⑭今枝宗一郎	
三重	①川崎二郎 ④田村憲久(世話人) ⑤三ツ矢憲生	
大阪	②左藤 章 ⑦とかしきなおみ(事務局次長) ⑫北川知克 (比)竹本直一 (比)中山泰秀 (比)大塚高司 (比)原田憲治	
滋賀	②上野賢一郎	
京都	①伊吹文明(会長) ③宮崎謙介 ④田中英之 ⑤谷垣禎一	
兵庫	①盛山正仁 ④藤井比早之 ⑤谷 公一 ⑦山田賢司 ⑨西村康稔	
奈良	②高市早苗 ③奥野信亮 ④田野瀬太道	
和歌山	②石田真敏 ③二階俊博 (比)門 博文	
鳥取	①石破 茂 ②赤沢亮正	
島根	①細田博之 ②竹下 亘	
岡山	①逢沢一郎 ②山下貴司 ③阿部俊子 ④橋本 岳 ⑤加藤勝信	
広島	①岸田文雄 ②平口 洋 ③河井克行 ④中川俊直 ⑤寺田 稔 ⑦小林史明 (比)小島敏文	
山口	①高村正彦 ②岸 信夫 ③河村建夫(世話人) ④安倍晋三	
徳島	①福山 守 ②山口俊一 ③後藤田正純	
香川	①平井卓也 ③大野敬太郎 (比)瀬戸隆一	
愛媛	①塩崎恭久	
高知	①福井 照 ②中谷 元 ③山本有二	
福岡	①井上貴博 ③古賀 篤 ④宮内秀樹 ⑤原田義昭 ⑦藤丸 敏 ⑧麻生太郎 ⑨三原朝彦 ⑩山本幸三(世話人)	
佐賀	①岩田和親 ②今村雅弘	
長崎	①富岡 勉 ③谷川弥一 ④北村誠吾	
熊本	②野田 毅 ③坂本哲志 ⑤金子恭之	
大分	①穴見陽一 ②衛藤征士郎 ③岩屋 毅	
宮崎	①武井俊輔 ②江藤 拓 ③古川禎久	
鹿児島	①保岡興治(世話人) ②金子万寿夫 ④小里泰弘 ⑤森山 裕	
沖縄	①國場幸之助 ④西銘恒三郎	

平成26年12月15日現在

編集後記

今年の春に日本薬剤師連盟の組織が山本会長を筆頭に一新された。それに伴って新しい組織体制ができ、企画実行委員のメンバーも新しくなった。そして、その新メンバーに各担当が割り振られたのが夏頃だったか。そこでフォーラム担当者指名され、早速その検討に入った。今までで6回開催された若手フォーラムは一定の成果もあり、引き続き開催すべきだが、今回は1年半後に迫った参議院選挙に向けた新しいフォーラムとすべく協議が始まった。会議を重ねているうちにアツという間にその開催が迫り、アツという間に衆議院が解散してしまい、そしてアツという間にフォーラムが終了してしまった。そしてアツとする間もなく公示日過ぎて、選挙事務所訪問、電話作戦、個人演説会等があり、アツとする間もなくフォーラム記事、編集後記、編集会議とこなし、そしてアツとする間もなく本年も過ぎ去ろうとしている。次の2015年も本格的な後援会名簿活動が始まるため、きつアツという間に、アツとする間もなく過ぎ去っていくんだろうな。

道理で最近、歳をとるのが早いはずだ。



- 広報委員
- 生田 泉太郎 安東 哲也
 - 大澤 泰輔 鳥海 良寛
 - 大原 整 榑方 陽子
 - 近藤直緒美 根本 陽充